

平成 23 年度

大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士前期課程
一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜

学 生 募 集 要 項

日本獣医生命科学大学

NIPPON VETERINARY AND LIFE SCIENCE UNIVERSITY

平成 23 年度
日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科
応用生命科学専攻博士前期課程学生募集要項

【理念・目的】

応用生命科学専攻博士前期・博士後期課程は、21 世紀における生命科学、環境科学、食品科学新時代の開拓者として必要な、広い知識と技術能力を備えた高度な動物及び食品科学の専門職、研究者並びに教育者の育成を構想した大学院教育を行う。

1. 募集人員

専攻	募集人員
応用生命科学	7名

2. 専門分野及び研究指導分野

専門分野	研究指導分野
細胞機能科学	分子生理機能学、実験動物学、動物生殖学
生命共生社会システム学	食料自然動物共生学、動物システム経営学、フードシステム学
動物資源生産科学	動物生産化学、動物資源利用学
食品基礎科学	食品生化学、食品化学
食品機能開発学	食品機能学、食品微生物機能学、食品物性・特性学

〔注意事項〕

- ① 詳細は付表の「専門分野の概要」及び「研究指導分野一覧」を参照して下さい。
- ② 出願に際しては、希望する研究指導分野の指導教授（指導教授については付表2の「研究指導分野一覧」に記載）と事前に相談し、その指導を受けて下さい。

3. 出願資格

次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 大学における4年制の課程を卒業した者（学士の学位を授与された者）及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 文部科学大臣の指定する者（昭和28年文部省告示第5号）
- (4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

〔注意事項〕

社会人特別選抜制度で受験する場合は、上記(1)～(4)のいずれかの条件を満たし、かつ、企業、国又は地方公共団体等に勤務し、その身分を有したまま大学院学生となることを所属長から許可された者、又はこれに準ずる者と本学大学院において認められた者

(※出願を希望する者は、あらかじめ志望する研究指導分野の担当教員の了解を得て下さい。)

4. 願書受付期間

第1次募集	平成22年9月1日（水）～9月14日（火）
第2次募集	平成23年2月1日（火）～2月10日（木）

- 〔注意事項〕 ① 第1次募集で定員を満たした場合、第2次募集は実施しない。
 ② 受付時間：平日（月曜～金曜）午前9時から午後5時まで

5. 出願手続等

- (1) 出願書類は一括して、検定料20,000円（現金又は郵便為替）を添え、本学大学院課へ提出して下さい。
 (2) 出願書類等

出願書類等		摘 要	提出部数
1	入 学 願 書	本学所定用紙 本籍（国籍）欄は、都道府県名のみを記入して下さい。 外国籍の方は国名を記入して下さい。	1部
2	写 真 票	本学所定用紙（カラー写真） 上半身脱帽で、出願前3ヵ月以内に撮影した縦3cm×横3cmの裏に氏名を記入して、全面糊付けして下さい。	1部
3	受 験 票	本学所定用紙	1部
4	卒業（見込）証明書等	出身大学卒業（見込）証明書	1部
5	成 績 証 明 書	出身大学の成績証明書。なお、修士課程等修了（見込）者は大学院の成績証明書も提出して下さい。また、外国文の場合は必ず日本語の訳文を添付して下さい。	1部
6	履 歴 書 （社会人・外国人留学生 特別選抜のみ提出）	本学所定用紙 写真については、カラー写真で上半身脱帽、出願前3ヶ月以内に撮影した縦3cm×横3cmの裏に氏名を記入して全面糊付けして下さい。学歴記入の欄については、高等学校卒業から記入して下さい。 本籍（国籍）欄は、都道府県名のみを記入して下さい。 外国籍の方は国名を記入して下さい。	1部
7	自 己 紹 介 書	本学所定用紙	1部
8	業績報告書又は小論文 （社会人・外国人留学生 特別選抜のみ提出）	書式は任意でよいが、A4判にて、小論文においては1000文字程度にまとめて下さい。また、英文においては500語程度にまとめて下さい。	1部
9	※推 薦 書	本学所定用紙 出身大学の指導教員又は、官公庁、企業等の直接の指導者が作成したもの。	1部

※印は官公庁、企業等に在職のまま入学しようとする者は、必ず提出して下さい。

〔注意事項〕

官公庁、企業等に在職のまま入学しようとする者は、入学手続きの際に、所属長又は代表者の入学承諾書を必要とするので、あらかじめ承知しておいて下さい。

6. 入学者選抜方法

(1) 一般選抜

学力（筆記）試験〔英語（英文和訳 ※辞書持込不可）、専門科目（研究指導分野 1科目）〕、面接、成績証明書の内容を総合して行います。

(2) 社会人特別選抜

面接、推薦書、成績証明書及び業績報告書、又は小論文の内容を総合して行います。

(3) 外国人留学生特別選抜（書類審査のみ）

志願理由書、成績証明書、業績報告書、又は小論文の結果を総合して行います。

[注意事項]

研究指導分野の専門試験科目等、その詳細については付表の「研究指導分野一覧」を参照して下さい。

7. 試験日時及び試験場

試験日時		時間		試験場
第1次	第2次			
平成22年 10月5日（火）	平成23年 3月3日（木）	学力試験	10:00～12:00	本学 第一校舎
		面接試験	14:00～	

8. 合格発表

第1次 平成22年10月7日（木）午前10時

第2次 平成23年3月7日（月）午前10時

本学の大学院掲示板に掲示するとともに、合格者については本人宛に通知します。なお、電話等による照会には一切応じません。

9. 入学手続

入学手続の詳細については、合格通知書とともに郵送する、「入学手続方法について（博士前期課程）」を参照して下さい。

(1) 入学手続期日

第1次 平成22年10月7日（木）～平成22年10月20日（水）

第2次 平成23年3月7日（月）～平成23年3月18日（金）

- (2) 提出書類
- | | |
|---|----|
| ① 住民票（本籍記載のあるもの）又は住民票記載事項証明書
（外国人は外国人登録済証明書で出願前3ヵ月以内に発行したもの） | 1部 |
| ② 保証書 | 1部 |
| ③ 卒業又は修了証明書 | 1部 |
| ④ 写真（カラーで上半身・脱帽正面 縦3cm×横3cm） | 2葉 |
| ⑤ 入学承諾書（社会人特別選抜制度による入学者のみ提出） | 1部 |

(3) 納入金

(イ) 入学金 200,000円（本学出身者は免除）

(ロ) 授業料 680,000円

(ハ) 実習費 150,000円

(ニ) 厚生福利費 10,000円（初年度のみ）

〔注意事項〕

納入金は、原則として年額を一括納入することとします。ただし、授業料及び実習費は、前期、後期の2期に分けて納入することができます。

10. 入学辞退

入学辞退による授業料等納入金の返還について

入学手続を完了した後に入学を辞退する場合は、入学金を除く納入金を返還します。

ただし、入学辞退による納入金の返還請求期限は、平成23年3月31日（木）午後4時までとします。

11. 奨学金制度等

(1) 大学院アシスタントシップ（ティーチングアシスタント）制度があります。

平成22年度採用実績 16名

(2) 大学院学生に対する日本学生支援機構の奨学金制度があります。

平成22年度現在奨学金受給者 3名

12. 問い合わせ先

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1丁目7番1号

日本獣医生命科学大学 事務部大学院課

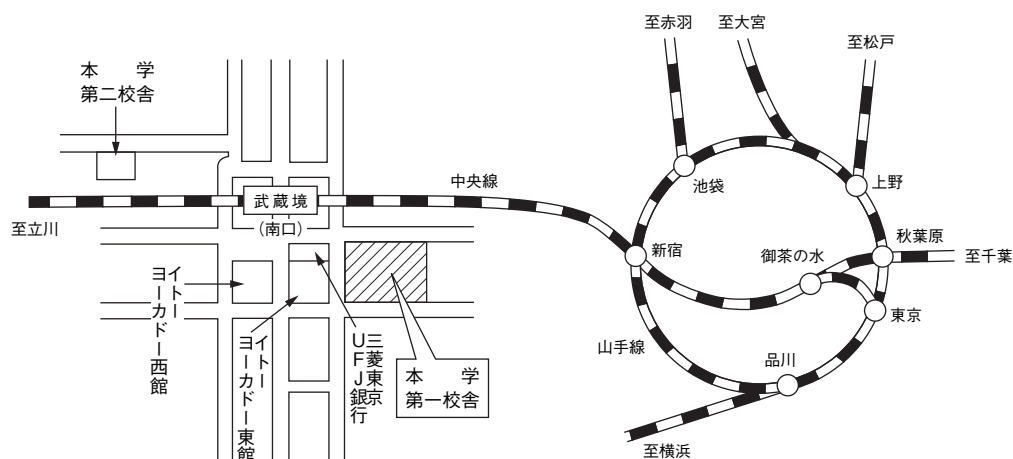
TEL 0422-31-4151（代） FAX 0422-33-2094

13. 日本獣医生命科学大学ホームページ

ホームページアドレス

<http://www.nvlu.ac.jp>

14. 獣医生命科学研究所の所在地



15. 個人情報保護について

本学大学院の入学試験関連資料の請求及び入学願書出願にあたってお知らせいただいた氏名・住所・電話番号等の個人情報については、研究科資料、合否判定資料、入学手続の通知及び統計的資料作成を行うために利用します。これらの個人情報については、上記に明示する用途のみに使用し、その範囲を超えて利用することはありません。

獣医生命科学研究科応用生命科学専攻専門分野の概要

専門 分野	研究指導分野	概 要	構成教室／研究室
細胞 機能 科学	分子生理機能学 実験動物学 動物生殖学	<p>動物資源の確保と探索および生産機能の効率化に焦点をあてた研究と教育をする。内容は始原生殖細胞から個体の形成、個体の生殖活動に関する基礎的学理等について講義し、学理の発展と応用にいたる研究手法を指導する。</p> <p>食資源としての動物を安定的に供給する先端技術教育と高度な研究を行う。また、分子遺伝学、遺伝子工学、生殖工学の手法を用いて、動物の内分泌系、神経系、免疫系、生殖系等による生理機能の調節機構や発生機構を分子レベルで解明し、産業動物、伴侶動物、野生動物の最適生育環境を動物の生理・生殖機能の観点から教育及び研究を実施する。研究を通じて、動物科学分野におけるバイオテクノロジーの基本技術、先端技術を習得させ、高度な専門を有する人材を養成する。</p>	動物生理制御学教室 実験動物学教室 動物生殖学教室
生命 共生 社会 シ ス テ ム 学	食料自然動物共生学 動物システム経営学 フードシステム学	<p>人間の生命維持と健康福祉を向上させるために、他の多様な生命体との相互依存関係を持続的に実現する共生社会システムについて人文社会科学的方法によって教育と研究を行う。</p> <p>食品安全リスクアナリシス研究やトレーサビリティシステムの開発をめざし、農業と食品産業の連携を扱う新しい研究分野であるアグリフードシステム学についての教育と研究を行う。また、農村における自然環境や野生生物との共生をめざし、有機農業や環境保全型農業による環境共生型社会システムについての教育と研究を行う。市民社会の成熟に伴って求められている伴侶動物と人間との関係論についての人文社会科学的教育と研究も行う。総合的な専門知識を有する人材を養成する。</p>	食料自然共生経済学教室 システム経営学教室 食品経済学教室

動物資源生産科学	動物栄養科学 動物生産化学 動物資源利用学	食用動物の生産とその利用を中心に動物生産資源の探索、動物生産環境等について、栄養学、生化学、管理学、生態学等、細胞分子レベルから生体群レベルに至る教育と研究を行う。これらの研究によって得られた知見により、畜産業、食品産業、生命産業等に活用するための応用研究も行う。また、動物資源の高度利用について、牛乳、食肉を調理・加工、貯蔵することによって起こる成分間変化について、それを引き起こす酵素の構造、作用特性、生産性および利用性等を究明する。そして、最新技術の応用手法を指導し、社会のニーズに応える高度な専門知識を有する人材を養成する。	動物栄養学教室 動物生産化学教室 乳肉利用学教室
食品基礎科学	食品生化学 食品化学 バイオテクノロジー 食品健康環境学	動物性ならびに植物性食品の調理・加工・貯蔵条件下における化学的、生化学的成分変化について、風味形成および高機能食品開発の視点に立脚した教育および研究指導を行う。食資源の成分科学に関する高度な知識の修得をはじめ、食品添加物や食品由来の生理活性成分を含めた食生活環境が食品の健全性や摂食者の健康に及ぼす生理生化学的影響について、基礎的な観点からの研究指導を行う。また、酵素、遺伝子、微生物の科学を基盤とするバイオ技術の開発ならびに食品への応用を図る研究指導を通して、健全な食品および食生活の改善・創造を支える課題について教育を行い、高度な専門知識を有する人材を養成する。	農産食品学教室 食品化学教室 食品バイオテクノロジー教室 食品健康環境学教室
食品機能開発学	食品機能学 食品微生物機能学 食品物性・特性学	食品並びにその素材が有する機能を解明し、それを安全な高機能・高品質食品の開発に応用するために必要な高度専門知識および技術を習得させる。具体的には、食品やその素材が有する保健機能を探索し、その効果物質を単離、同定すると同時に、細胞やモデル動物を用いて検証する。また、食品の成分間反応で生じた物質が体内で及ぼす生体調節機能や食品製造に使用される食品微生物の有用機能を探索し、その機能性成分と作用機序を解明する。さらに、高品質・高機能食品の開発に必要な食品素材の機能特性を理解し、物性改良を中心とした食品の加工技術の開発研究を行う。これらの教育・研究を通して、豊かな食生活の実現に貢献し、高度な専門知識を有する人材を養成する。	食品機能化学教室 食品衛生学教室 食品工学教室

研究指導分野一覧

専門分野	研究指導分野	専門試験科目	指導教員氏名 (所属教室)	研 究 内 容
細胞機能科学	分子生理機能学	分子生理機能学	田 中 実 (動物生理制御学教室)	脳機能およびエネルギー代謝の内分泌制御機構の分子生物学的研究
	実験動物学	実験動物学	天 尾 弘 実 (実験動物学教室)	抗酸化酵素 SOD の新規機能の検索・抗癌剤の消化管ホルモンへの影響性
	動物生殖学	応用生殖機能学	牛 島 仁 (動物生殖学教室)	生殖細胞機能の動物生産への応用に関する研究
生命共生社会システム学	食料自然動物共生学	農業経済学	永 松 美 希 (食料自然共生経済学教室)	アグリフードシステム論、EU の農業環境政策、有機農業論、自然環境管理システム論、動物福祉論
	動物システム経営学	農業経営学	小 澤 壯 行 (システム経営学教室)	畜産経営学を基礎とした効率的な産業動物生産システム構築のための実証的研究
	フードシステム学	食品経済学	佐々木 輝 雄 (食品経済学教室)	安全と循環を重視したフードシステムの研究
動物資源生産科学	動物生産化学	動物生産化学	太 田 能 之 (動物生産化学教室)	給与・投与した栄養素の生体内での作用を遺伝情報制御、代謝および形質まで一連の流れで明らかにする。
	動物資源利用学	乳肉利用学	阿久澤 良 造 (乳肉利用学教室)	乳および乳製品の品質向上・創製に寄与するところの乳成分および各種酵素特性解明に関する研究
食品基礎科学	食品生化学	農産食品学	麻 生 慶 一 (農産食品学教室)	植物性食品素材の酵素、タンパク質、ペプチド、多糖などの基礎と応用
	食品化学	食品化学	松 石 昌 典 (食品化学教室)	食肉を中心にした食品の香り、味、テクスチャーを構成する成分に関する研究
食品機能開発学	食品機能学	食品機能学	西 村 敏 英 (食品機能化学教室)	食品並びに食品成分の生理機能と生態調節機能に関する生化学的研究
	食品微生物機能学	食品微生物学	藤 澤 倫 彦 (食品衛生学教室)	腸内細菌叢の構成及び機能に影響を及ぼす諸要因に関する研究
	食品物性・特性学	食品工学	小 竹 佐知子 (食品工学教室)	食品の口ざわりと感覚表現

**平成23年度
日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科
応用生命科学専攻博士前期課程入学願書**

平成 年 月 日

日本獣医生命科学大学長 殿

貴大学大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士前期課程に入学したいので、所定の書類を添え出願いたします。

ふりがな 氏名	(印)	本籍 (国籍)	都・道・府・県	受験番号	※
生年月日	年 月 日生 (男・女)				
現住所	〒 電 話 () 携帯電話 () F A X () E-mail				
合格通知 連絡先	〒 電 話 () 携帯電話 () F A X () E-mail				
出身大学	大学	学 部 学 科	年 月 卒業・卒業見込		
	大学大学院 修士課程	研究科 専 攻	年 月 修了・修了見込		
受験科目	外国語	英 語	専門試験科目		
志望する教育 研究指導分野名					
卒業論文又は 修士論文等題目	(指導教員氏名)				
職 歴 (ある場合)					
学費負担者	氏名		本人との 関 係		

- (注) 1. 記入の際には黒のペン (ボールペン等) を使用して下さい。
2. ※欄は記入しないで下さい。
3. 選択項目は○で囲んで下さい。
4. 住所欄は正確に記入し、〇〇マンション〇〇号室等まで記入して下さい。

会 計 印

**平成23年度
日本獣医生命科学大学大学院
応用生命科学専攻博士前期課程
写 真 票**

受験番号	※
(3cm×3cm)	
氏 名	
生年月日	年 月 日生

※欄は記入しないで下さい。

平成 年 月撮影

**平成23年度
日本獣医生命科学大学大学院
応用生命科学専攻博士前期課程
受 験 票**

受験番号	※
氏 名	
受付印	会 計 印
受験票は必ず試験場に 持参すること。	

※欄は記入しないで下さい。

履 歴 書

平成 年 月 日現在

写真貼付欄	ふりがな			性別
<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;">(3cm×3cm)</div>	氏 名	Ⓜ		男・女
	生 年 月 日	年	月	日生 (満 才)
	戸 籍 筆 頭 者			続柄
	本 籍 (国 籍)	都・道・府・県		
ふりがな				
現住所	〒 マンション・寮・荘・アパート 号			
電 話	() -	携帯電話	() -	
F A X	() -	E-mail		
年 号	年	月	学 歴	
			高等学校卒業	

(日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士前期課程)

- (注) 1. 記入の際には黒のペン (ボールペン等) を使用して下さい。
 2. 学歴は高等学校卒業から記入して下さい。
 3. ※欄は記入しないで下さい。

受験番号	※
------	---

自己紹介書

平成 年 月 日現在

	大学	ふりがな				
	学科	氏名	⑩			
平成 年 月 卒業（修了）・卒業（修了）見込		生 年 月 日	年	月	日生（満	才）
ふりがな	-----					
連絡先	〒 マンション・寮・荘・アパート 号					
電 話	()	-	携帯電話	()	-	
F A X	()	-	E-mail			
得意科目 (研究テーマ)						
自覚している長所 (特に強調したい事項)						
課外活動						
所属研究室	指導教員名：					
趣味・特技						
免許・資格						
家 族 構 成	続柄	氏 名	年令	続柄	氏 名	年令

（日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士前期課程）

- (注) 1. 記入の際には黒のペン（ボールペン等）を使用して下さい。
 2. ※欄は記入しないで下さい。

受験番号	※
------	---

社 会 人 入 学 推 薦 書

平成 年 月 日

日本獣医生命科学大学長 殿

推薦機関

所在地

機関名

代表者名

⑩

記載者氏名（役職）

⑩

下記の者は、貴学の大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士前期課程社会人入学志願者として適当と認め責任を持って推薦いたします。

ふりがな	機関名	
氏 名		
生年月日 年 月 日生		

（推薦理由）

1) 適当と認める理由

2) 修了後に期待すること

（注） ※欄は記入しないで下さい。